学校番号	3003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵　（尚文出版）、クラウド型学習端末「すらら」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

21 世紀に入り、我が国は急速に変化しており予測が困難な時代となっています。一人一人が持続可能な社会の担い手として、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められます。

「国語演習」では、このような状況に置かれた皆さんが、言語の特徴や情報の取り扱い、あるいは言語文化について基礎から学びなおしたり、応用的な内容を学んだりすることを通じて、自ら学ぶ力を養い、幅広い知識を習得することで、進学後に自らの力で国語に関する全般的な学習を深められるようになることをめざします。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、とりわけ進学に向けた国語を中心に学び、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・漢字の読み書き ・時事問題 ・古典文法 ・漢文法 ・論理構造 ・同音異義語 ・同訓異字 ・四字熟語 ・大学入試対策問題 ［教材］ 読解現代文必携　キーワードの卵　(尚文出版)、 クラウド型学習端末「すらら」	a：語句の意味、漢字の使い方、日本語文法の基礎や論理構造などを理解している。 b［読］：各文章の特徴を踏まえ、内容の構成や内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	定期考査 テキストの取り組み状況 ワークシート 「すらら」の学習状況	定期考査 ワークシート 「すらら」の学習状況	ワークシート 振り返り活動 「すらら」の学習状況
2学期	・漢字の読み書き ・和歌 ・敬語表現 ・ことわざ ・対義語・類義語 ・故事成語 ・慣用表現 ・古文読解 ・漢詩 ・大学入試対策問題 ［教材］ 読解現代文必携　キーワードの卵　(尚文出版)、 クラウド型学習端末「すらら」	a：語句の意味、漢字の使い方、日本語文法の基礎や和歌・漢詩の知識などを理解している。 b［読］：各文章の特徴を踏まえ、内容の構成や内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 b［書］：文章の TPO に応じて、内容や文脈を読み取りながら、想像力豊かに、自分のものの見方、感じ方、考え方を文章で表現することができる。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	定期考査 テキストの取り組み状況 ワークシート 「すらら」の学習状況	定期考査 ワークシート 「すらら」の学習状況	ワークシート 振り返り活動 「すらら」の学習状況
3学期	・漢字の読み書き ・カタカナ語・略語 ・古典常識 ・文学史 ・現代詩・短歌・俳句 ・大学入試対策問題 ［教材］ 読解現代文必携　キーワードの卵　(尚文出版)、 クラウド型学習端末「すらら」	a：語句の意味、漢字の使い方、日本語文法の基礎や文学史や古典常識の知識などを理解している。 b［読］：各文章の特徴を踏まえ、内容の構成や内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	定期考査 テキストの取り組み状況 ワークシート 「すらら」の学習状況	定期考査 ワークシート 「すらら」の学習状況	ワークシート 振り返り活動 「すらら」の学習状況

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　10　）時間
・読むこと　…　（　55　）時間